

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題1

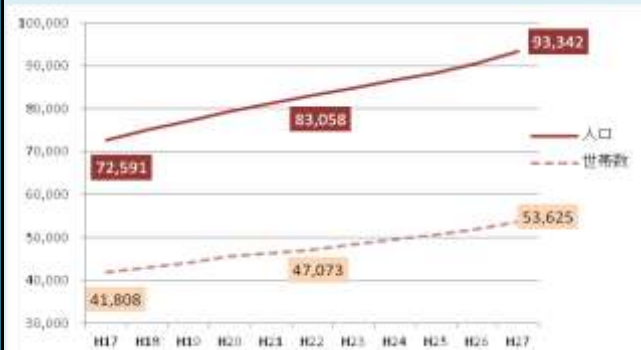
【地域コミュニティの活性化】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

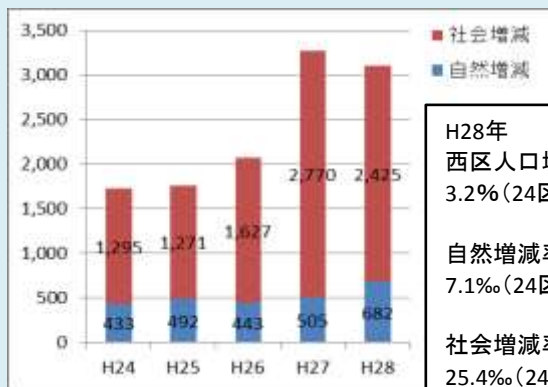
マンション住民や若い世代を含む区民の皆さんが自分たちのまちについて考え、行動できる環境が整っている。
 ・急増するマンション住民の皆さんがマンション住民どうし、並びに地域との交流を持ち、人と人とのつながりのあるコミュニティあふれる住みよいまちとして自律的な地域運営が区内の全地域で実現されている。
 ・誰もが参加し、「自らの地域のことは自らが決める」という意識のもと行われる地域活動協議会の様々な活動を通じて、活動の透明性を確保しながら生活課題等の解決に取り組む豊かなコミュニティが形成されている。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【西区の人口・世帯数の推移】(各年度10月1日現在)



【西区人口の自然増・社会増数】(推計人口)



H28年
 西区人口増減率
 3.2%(24区中1位)
 自然増減率
 7.1%(24区中1位)
 社会増減率
 25.4%(24区中1)

※社会増減・・・転入数-転出数
 自然増減・・・出生数-死亡数

【平成25年住宅・土地統計調査】

住宅に占めるマンション比率が約93%(市内2位)
 1kmあたりの11階建以上の高層マンション住戸数5,600戸(市内1位)

【平成28年度区民モニターアンケート結果】

あなたは、お住まいの地域では、日頃から近所どうしで「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じますか。



あなたは地域活動に参加していますか



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・マンションの建設ラッシュ等により急激に人口が増加していることを一因として、住民どうしのつながりが希薄になってきており、地域活動への関わりや、参画のきっかけがわかりにくくなってきている。そのため、地域で活動している多様な活動主体の情報が十分伝わっていない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・地域とのつながりづくりのための活動を支援することで、地域活動協議会や地域での活動内容を知ってもらい、地域活動を行っている地縁による団体やグループ、地域のつながりの基礎となる住民に最も身近な自治会・町内会単位の参画を促す。
 ・希薄になりがちな地域コミュニティを活性化させ、人と人とのつながりづくりを促進していくため、区役所と地域住民、NPO、企業、学校などが連携し、公園などの地域資源を活かした協働の取組みを行い、様々な形での交流の機会を増やしていく必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 1-1 【人と人のつながりづくりの活動支援】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 近所に住む人どうしが集まり、福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになり、地域の中での生活課題の解決に取り組む。	戦略<中期的な取組の方向性> ・子育てや高齢者への支援、まちの安全や安心の確保、まちの美化などの多様な地域活動への支援を行う。 ・人と人のつながりづくりや地域活動の重要性について、防犯・防災・福祉など日常生活に密着した重要な取組みを町会・自治会等の身近な地域の活動主体によって担われていることを周知するなど、町会・自治会等の活動への参加や加入に繋がるよう支援します。 ・各団体の活動が持続的なものになるよう、誰もが気軽に参加(短時間や短期間だけ活動に参加)できるための仕組みや工夫に関する情報を提供するなどの支援を行う。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・身近な地域でのつながりを肯定的に感じる区民の割合:平成31年度までに41%以上 ・各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合:前年度以上(平成30年度:42%以上)	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		

具体的取組 1-1-1 【地域に根ざした活動への支援】

28決算額 - 円 | 29予算額 - 円 | 30予算額 - 円

計画	取組内容 ・自治会や町内会、子ども会など地縁型団体の活動状況について、活動主体と連携して区広報紙・HP等を通じて区民に広報し、活動目的の周知や活動への参加を呼びかける。(15回以上) ・地縁型団体の会議等で活動目的を改めて確認する機会を設け、さらに誰もが気軽に参加できるようにする仕組みや工夫に関する情報提供を行う。(6回以上)	業績目標(中間アウトカム) ・自治会・町内会単位の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・「市民活動総合ポータルサイト」への地縁型団体の登録件数:1件
		【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、支援内容を再構築する。
		前年度までの実績 【平成29年度実績】 ・自治会・町内会単位の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じる区民の割合:58.2% ・区広報紙にて子ども会活動の周知・参加呼びかけ記事の掲載 ・転入者バックにて地域活動紹介冊子を配付 ・区広報紙に町会加入促進記事掲載(毎月) ・区広報板(58箇所)に町会加入促進バナー掲示

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-2

【コミュニティ育成事業】

28決算額 9,565千円 29予算額 9,330千円 30予算額 9,469千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> 豊かなコミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体、市民活動団体、企業等、区民ボランティアと協働しながら誰もが楽しめる交流の場の提供として実施する。（委託事業） 「区民まつり 体育と防災のつどい、文化のつどい」他 2事業 地域コミュニティづくりにつながる情報発信事業 広報チラシを作成し、転入者や子育て層に自治会・町内会活動への参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合：20%以上 <p>【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、取組み内容を再構築する。</p>
		<p>前年度までの実績</p> <p>【平成29年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合：19.4% 体育と防災のつどい、文化のつどい、スリーアイズ大会、スプリングフェスティバル、広報誌発行を実施（委託事業）

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 	
	戦略に対する取組の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-3

【マンションコミュニティづくり(防災)】(再掲)

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> マンションの特性に応じた防災対策の講座(5回以上)や訓練等を実施し、マンション住民同士の交流の機会をつくり、隣近所の身近なコミュニティづくりを支援する。 マンション内の自主防災組織を形成するための支援を行うとともに、地域との交流の機会をつくり、地域とのコミュニティづくりを支援する。 防災リーダーの活躍促進の一環として、情報共有会等の開催を通じ、地域における防災活動の強化に努める。(年2回以上開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 講座や訓練などの事業に参加して、マンション内やマンションと地域とのコミュニティづくりが必要と感じた区民の割合：80%以上 <p>【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。</p>
		<p>前年度までの実績</p> <p>平成29年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座(防災訓練含む)の実施：14回(平成29年12月末現在) マンション管理組合と行政機関との意見交換会 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<ul style="list-style-type: none"> ①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 	
	戦略に対する取組の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組 1-1-4

【マンションコミュニティづくり(子育て)】(再掲)

28決算額 121千円 29予算額 172千円 30予算額 114千円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)	
	・マンションに出向き、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、マンションに居住する親子が集う「にっしー広場」を年12回以上開催する。 ・子育て支援情報や地域での様々な取り組みを紹介する場を創出し、マンション住民を地域の活動につなげる支援を行う。		・初めて参加した保護者へのアンケートで「今後も子育て関係のイベントに参加したい」と答えた保護者の割合:80%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%以下であれば事業手法を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成				
戦略に対する取組の有効性				

めざす成果及び戦略 1-2 【地域活動の活性化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 地域活動協議会において地域の各種団体が連携・協働して、民主的で開かれた地域運営と会計の透明性を確保し、自律的に運営されている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域活動協議会が活動の透明性を確保しつつ各地域の特色や課題、ニーズに応じ、自律的な地域運営が促進できるよう支援する。 ・地域活動に関心のある人たちが地域活動に関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充、地域の人材と地域で求められている活動のマッチングなどのコーディネートを積極的に行う。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域活動協議会を知っている区民の割合：平成31年度までに40% ・新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数：5件	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A：順調 B：順調でない	
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組 1-2-1 【地域活動協議会への支援】

28決算額 39,424千円 | 29予算額 38,812千円 | 30予算額 38,413千円

計画	取組内容 【運営における支援】 自律的な地域運営を積極的に推進するため、まちづくりセンターを活用し、次の取組を行う。 ・他の地域団体等との連携や地域活動への住民の参加促進を支援する。 ・地域の資源が有効に活用され、各地域の特色や課題、ニーズに応じた支援を行う。 ・主体的に情報発信できるよう広報紙作成等の支援をする。 ・地域活動協議会の認知度を測定し、各地域、まちづくりセンターと連携して課題を抽出して地域カルテを更新する。 ・地域課題や活動等を各地域活動協議会間で共有できる場として、地域活動協議会会長連絡会(2回)と地域活動協議会情報共有会(2回)を開催する ・地域活動協議会補助金の趣旨について補助金説明会等にて役員等に説明し理解促進を図る。 【財政的な支援】 地域コミュニティの活性化等の地域課題への対応に対して地域の実情に応じて柔軟に活用できるよう地域活動協議会の活動や運営に対して財政的な支援を行う。	業績目標(中間アウトカム) ・地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：80% ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合：80% ・地域活動協議会補助金の趣旨について、地域活動協議会の会議の場などで説明を行った回数：1回 【撤退基準】 ・上記目標が60%未満の場合、支援内容を再構築する。
		前年度までの実績 【平成29年度実績】 ・地域活動協議会の構成団体が、自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合：69.9% ・まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合：63.6% ・まちづくりセンターを活用した勉強会開催及び広報活動に係る支援 ・地域活動協議会会長連絡会開催(2回) ・地域活動協議会情報共有会開催(2回) ・14地域活動協議会の活動状況について広報紙及びHPに掲載 ・地域活動紹介チラシを地域イベントで配付 ・地域活動協議会補助金の趣旨にかかる説明会を実施

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 1-3 【多様な活動主体とのネットワークづくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・地域活動団体やNPO等の地域を限定しないテーマ型団体及び企業ネットワークとの連携により地域コミュニティ創出の基盤ができており、地域の活力がアップしている。	戦略<中期的な取組の方向性> ・商店会、中小企業、経済団体、各種学校等、地域団体など多様な活動主体が連携し、地域課題の解決や住民同士の交流など地域の活力向上をめざした取り組みを進めるため、多様な活動主体が協働して取り組む機会を創出するなど、活動主体相互のネットワーク拡充に向けた支援を行う。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区役所との協働で、新たなネットワークづくりが進んでいると感じる活動主体の割合:平成31年度までに50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		A:順調 B:順調でない

具体的取組 1-3-1 【多様な活動主体とのネットワークづくり】

28決算額 1,115千円 29予算額 1,409千円 30予算額 673千円

計画	取組内容 ○区の貴重な地域資源である「公園」を活用した取組を通じて多様な活動主体のネットワークづくりを支援する。 ・バラ祭 ・絵本ピクニック ・にし恋マルシェ ○区内のものづくり企業やクリエイター等と連携し、地域産業に関する魅力を情報発信するとともに、区民の地域産業への関心を高めるため、ものづくり体験(1回開催)や職場見学を実施する。 ○企業見学会(ものづくり体験)等を行いながら、ネットワークの構築に向け、企業団体等との連携を図る。	業績目標(中間アウトカム) ・区役所との協働で、地域課題の解決や地域活力向上の取組を進める地域活動団体や協力企業等の数:40団体以上 【撤退基準】 上記目標以下の場合、事業手法を再構築する。 前年度までの実績 平成29年度 ・バラ祭、絵本ピクニック、にし恋マルシェ 各1回開催 ・区役所との協働で、地域課題の解決や地域活力向上の取組を進める地域活動団体や協力企業等の数:38団体 ・企業見学会を実施(平成29年度2社予定 平成28年度実績 4社)
----	--	---

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

【安全・安心で快適なまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

- ・地域住民が日ごろから高い防災意識と自助・共助の意識をもち、災害時に多くの区民等の命が安全に確保される。
- ・地域と行政等が一体となり、街頭犯罪や交通事故が起こりにくいまちづくりができている。
- ・誰もが自分らしくいきいきと暮らせるような安全・安心で快適なまちづくりができている。
- ・誰もが、気軽に健康づくりに取り組むことができ、元気ですこやかに暮らすことができる

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【南海トラフ巨大地震による被害想定（死傷者数）】※冬18時		・団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）に向けて、後期高齢者人口の増加が見込まれる						
	早期避難率低の場合	避難迅速化の場合		年齢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全市	119,350人	7,882人		人口	4,235人	4,641人（※）	3,358人	6,492人
西区	20,245人	38人		※団塊の世代（昭和22年～24年生まれ）を含む（平成27年国勢調査）				
【街頭犯罪発生件数】					・障がい者の増加が続いている			
	全市	西区	うち自転車盗		障がい者の状況			
平成27年	25,400件	864件	559件			平成23年度	平成28年度	増加率
平成28年	25,494件	1,030件	656件		身体障がい者手帳	2,317人	2,486人	7.3%
平成29年11月末	20,038件	887件	534件		療育手帳	376人	590人	56.9%
【交通事故発生件数】					【できる限り現在の住宅での生活を希望する方】 大阪市55.7%（平成28年度大阪市高齢者実態調査）			
	全市	うち自転車関連	西区	うち自転車関連	* 団塊の世代が後期高齢者となる平成37年までに、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができることをめざし、平成27～29年度「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」等が策定された。			
平成27年	12,743件	4,906件	646件	285件				
平成28年	12,167件	4,718件	556件	240件				
平成29年11月末	10,239件	4,017件	456件	173件				

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・南海トラフ巨大地震による人的被害想定については、早期避難により最大限減らすことができる。
- ・西区の街頭犯罪発生件数は、自転車盗難事案が多発していることもあり、増加傾向にある。
- ・西区内の交通事故発生件数のうち自転車関連事故の割合が非常に高い。
- ・高齢者や障がい者などが住み慣れた地域で自立した日常生活を営むためには、地域住民の見守り活動の推進とともに、地域と行政・関係機関との連携強化が必要である
- ・健康寿命は市平均を上回るが、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療等を推奨することで、健康寿命のさらなる延伸が期待できる。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・地域住民や企業等が高い防災意識を持ち、相互が連携して災害時に迅速な避難や初期初動対応が行えるよう支援する。
- ・街頭犯罪や交通事故件数の減少に向け、区民の防犯意識や自転車利用者の交通マナーの向上の取り組みを継続するとともに、街頭犯罪や交通事故等が起こりにくい地域環境を整備する。
- ・各地域における見守り活動組織の運営を継続的に支援し、協働することで、高齢者や障がい者などが地域とつながり、課題が生じたときにも早期に発見し、行政・関係機関による支援につなげることができる
- ・医療・介護など多職種との連携を推進するとともに、生活習慣病の予防・早期発見・治療の推奨など健康づくりの取り組みを強化する。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 2-1 【災害に強いまちづくり】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・災害時に、区民一人ひとりが自分の命を守る手法等を把握し、さらに地域住民と企業・事業所などが連携する自主防災組織が、災害時の避難対応をはじめとした初期初動対応力が強化されることで、多くの区民等の命を災害から守る。	戦略<中期的な取組の方向性> ・地域等に対する地域防災力向上に向けた様々な活動支援を通じて、自主防災組織による初期初動対応力を強化し、自助・共助の意識向上を図る。 ・津波から一人でも多くの命を守るため、避難手法等を広く周知することで、区民の防災意識・知識を高め、区民の早期避難につなげる。 ・小中学校を中心とした学齢期からの防災意識や災害対応知識の向上を図る。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・地域主体で実情に即した自主防災組織による訓練(避難所開設・運営等)を実施した地域:平成31年度までに14地域	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	A: 順調 B: 順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	

具体的取組 2-1-1 【地域防災力の向上】

28決算額 1,782千円 29予算額 2,408千円 30予算額 2,492千円

計画	取組内容 ・地域実情に即した自主防災組織による地域防災訓練等の実施を支援する。 ・防災訓練(14回)や防災出前講座などを通じて、津波による浸水時の避難手法や日ごろの備えの必要性等を広く周知する。 ・マンション・企業等における防災対策(訓練等)の活動を支援する。 ・災害時の担い手となる地域防災リーダーの拡充を図る。 ・小・中学校での「防災・減災教育カリキュラム」(11回)の支援をはじめ、学校との意見交換会の実施など、学校との連携強化を図る。	業績目標(中間アウトカム) ・家庭や地域で防災対策を講じている区民の割合:50%以上 【撤退基準】・上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度実績(平成29年12月末現在) ・地域防災訓練実施:10地域 ・防災出前講座の実施(マンション・企業等):20回 ・小学校・区役所防災担当職員意見交換会の実施:1回 など

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-1-2

【マンションコミュニティづくり(防災)】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)
	・マンションの特性に応じた防災対策の講座(5回以上)や訓練等を実施し、マンション住民同士の交流の機会をつくり、隣近所の身近なコミュニティづくりを支援する。 ・マンション内の自主防災組織を形成するための支援を行うとともに、地域との交流の機会をつくり、地域とのコミュニティづくりを支援する。 ・防災リーダーの活躍促進の一環として、情報共有会等の開催を通じ、地域における防災活動の強化に努める。(年2回以上開催)		講座や訓練などの事業に参加して、マンション内やマンションと地域とのコミュニティづくりが必要と感じた区民の割合:80%以上 【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。
			前年度までの実績 平成29年度実績 ・防災出前講座(防災訓練含む)の実施:14回(平成29年12月末現在) ・マンション管理組合と行政機関との意見交換会 1回
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 2-2 【安全で快適な居住環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>									
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の防犯意識や交通安全に対する関心が高まり、西区内の街頭犯罪や交通事故件数が減少することで、区民一人ひとりが安心安全なまちと感じることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪や交通事故から区民を守るため、これらを未然に防ぐ施策の充実と区民一人ひとりの防犯や交通安全に対する意識向上を図る。 青色防犯パトロール活動や防犯啓発活動など、地域や関係機関と協働して防犯活動に取り組むことにより、区民の防犯意識の向上を図るとともに、犯罪が起こりにくい地域環境の整備を図る。 春秋の交通安全運動の推進に向け、西警察署をはじめ関係団体と連携し、交通安全の啓発活動とともに、児童・生徒、成人への交通安全講座を実施することで交通ルールの遵守や自転車利用者のマナー向上を図る。 									
自己評価	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須									
	<ul style="list-style-type: none"> 西区内の街頭犯罪発生件数:前年からの減 西区内の交通事故発生件数:前年からの減 		<table border="1"> <tr> <td>戦略のアウトカムに対する有効性</td> <td>ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す</td> </tr> <tr> <td>アウトカムの達成状況</td> <td>前年度 個別 全体</td> </tr> <tr> <td colspan="2">A:順調 B:順調でない</td> </tr> <tr> <td>戦略の進捗状況</td> <td>a:順調 b:順調でない</td> </tr> </table>		戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	A:順調 B:順調でない		戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない
	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す										
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体										
A:順調 B:順調でない												
戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない											
今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須												

具体的取組 2-2-1 【犯罪が起こりにくい地域環境整備】

		28決算額	655千円	29予算額	739千円	30予算額	618千円
計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)				
	<ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪発生件数の約7割を占める自転車盗難対策として、様々な防犯活動の機会を活用し、関係機関(西警察署等)と連携しながら啓発活動に取り組む。 犯罪を助長し、まちの美観を損なう落書き対策として、地域住民、学校及び関係機関と連携しながら、各団体等が実施する落書き消去活動を支援する。 青色防犯パトロール活動、小学校の登下校時の見守り活動などを継続実施し、子どもへの犯罪防止・抑止及び安全確保を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 効果的な自転車盗難対策を講じている区民の割合:50%以上【撤退基準】 上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。 				
中間振り返り	業績目標の達成状況		前年度までの実績				
	<ul style="list-style-type: none"> ①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成 		平成29年度実績(平成29年12月末現在)				
	戦略に対する取組の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) 				
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	<ul style="list-style-type: none"> ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成 		<ul style="list-style-type: none"> ○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定) 				

具体的取組 2-2-2

【交通安全運動の推進】

28決算額 612千円 29予算額 183千円 30予算額 174千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期から交通安全に対する意識やルールが身につくように、幼稚園・保育所(園)の園児を対象に交通安全出前講座等を実施するとともに、小学校主体で行われる交通安全教育を西警察署と連携して支援する。 ・成人自らの交通法令の遵守や歩行者に配慮した自転車運転とともに、子どもたちの自転車運転の手本となるよう、西警察署と連携した交通安全講習会や、様々な防犯や交通安全イベント等の機会を通じて、効率的・効果的な交通安全運動に取り組む。 ・交通安全の観点から、子どもたちの安心で安全な歩行空間を確保するため、自転車利用者自らの駐輪を含む利用マナーの向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講習会などに参加し、交通法令の遵守や歩行者に配慮した自転車運転の必要性を認識した区民の割合：80%以上 <p>【撤退基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記目標が未達成の場合、事業手法を再構築する。
		<p>前年度までの実績</p> <p>平成29年度実績（平成29年12月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校交通安全教育：7回 ・交通安全出前講座：保育園園児対象6回 ・交通安全出前講座：幼稚園・親子対象6回 ・小学生保護者対象交通安全講習会：5回 ・企業向け交通安全講習会：2回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③：撤退基準未達成</p>	
	戦略に対する取組の有効性	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③：撤退基準未達成</p>	
戦略に対する取組の有効性	<p>○：有効</p> <p>×：有効でないため見直す</p> <p>—：中間アウトカム未設定(未測定)</p>	

めざす成果及び戦略 2-3 【誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 誰もが地域で安全で安心して自分らしく生き生きと暮らせるように、医療・保健・福祉にかかわる支援者が相互に連携し、地域住民と協働し、地域で理解し支え合って暮らす仕組みができています。		戦略<中期的な取組の方向性> ・高齢者、障がい者などに対する地域住民主体の見守り活動などを支援し、地域住民と協働することにより、必要な支援につながる仕組みづくりに取組む。 ・地域福祉活動の交流の場を確保することにより、地域住民がお互いに理解し支え合うまちづくりをめざす。 ・多様な主体や職種の連携により、医療、介護、生活支援、介護予防などが、包括的・継続的に提供され、住み慣れた地域で暮らせるよう支援する。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 住みなれた地域で安心して暮らせると感じている区民の割合：平成31年度までに80%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない			
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組 2-3-1 【地域における見守り活動の支援】

28決算額 13,281千円 29予算額 13,667千円 30予算額 13,762千円

計画	取組内容 ・「地域における要援護者のネットワーク強化事業(福祉局区CM事業30予算額12,491千円)」で、要援護者名簿整備と福祉専門職のコミュニティ・ソーシャル・ワーカーによる孤立世帯への専門的対応、徘徊認知症高齢者保護活動の強化等を行う ・高齢者、障がい者などの孤立を防ぎ、地域とのつながりづくりのために見守りコーディネーターを各地域に配置し、高齢者や障がい者などに対する福祉情報の提供や相談支援を行う ・地域における見守り活動組織の継続的な運営のための支援を行う ・各地域における民生委員・児童委員、地域社協等との連携を強化し、見守り活動の充実支援に取り組む		業績目標(中間アウトカム) ・高齢者、障がい者などに対して地域における見守り活動組織が継続的に活動している数：14地域 【撤退基準】 上記目標が13地域未満であれば、事業手法を再構築する	
	前年度までの実績 平成29年度実績 ・高齢者に加え、障がい者などに対して地域における見守り活動組織が継続的に活動している数：11地域(平成29年12月末時点) 平成28年度実績 ・高齢者に対する見守り活動組織が継続的に活動している数：14地域 ・高齢者に加え、障がい者などに対して見守り活動組織が継続的に活動している数：2地域			
	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
中間振り返り	業績目標の達成状況	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組 2-3-2

【地域福祉活動の推進】

28決算額 222千円 29予算額 436千円 30予算額 215千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	地域住民がお互いに理解し支え合う仕組みづくりのため、持続的な地域福祉活動の支援を行う。 ・子育て中の親子、支援者の交流の場「てをつなごう」の実施支援(1回) ・障がい者や支援者と地域住民の交流の場「そよかぜまつり」の実施支援(1回)		「てをつなごう」「そよかぜまつり」の各事業を通じて、地域住民同士の交流の場となったと感じる参加者・ボランティアの割合が75%以上 【撤退基準】 上記目標が60%未満であれば、事業手法を再構築する
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組 2-3-3

【在宅医療・介護連携の推進】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	<p>・患者や家族等の在宅療養生活を支えるために、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われることを目的に、区内医療関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護事業者連絡会）と介護関係団体との連携をはかるためのネットワークの充実に取り組む。</p> <p>・患者や家族等の状態の変化等に対応できるよう情報共有シート（区で統一化された連絡様式）を用いるなど、関係機関で連携を図る具体的な仕組みの構築に対する課題への対応策・解決策を整理する。</p>		<p>西区の在宅医療・介護関係者のうち、ネットワークの核となる「西区在宅医療・介護連携相談支援室」を知っていると回答した者の割合 80%以上</p> <p>【撤退基準】</p> <p>・上記目標が60%未満であれば、事業手法を再構築する。</p> <p>前年度までの実績</p> <p>【平成29年度】（平成29年12月末現在）</p> <p>業績目標 実績 56.9%（平成29年8月）</p> <p>関連事業の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区在宅医療・介護連携推進会議の開催（2回開催） ・医療介護関係者の研修（1回開催） ・部会における「情報共有シート」の利用促進策の検討（6回開催） <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区在宅医療・介護連携推進会議の開催（3回） ・モデル事業の実施・医療介護関係者の研修（2回） ・地域住民への普及啓発（リーフレット作成・講座開催） ・実態調査
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③: 撤退基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	<p>○: 有効</p> <p>×: 有効でないため取組を見直す</p> <p>—: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③: 撤退基準未達成</p>		
	戦略に対する取組の有効性	<p>○: 有効</p> <p>×: 有効でないため見直す</p> <p>—: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>	

具体的取組 2-3-4

【地域の健康づくり】

28決算額 22千円 29予算額 75千円 30予算額 60千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	・西区内医療関係団体や健康増進に取り組む団体等と連携し、人が多く集まる大型商業施設や地域のまちづくり活動の場等で健康づくり啓発活動を行う。(2回) ・子どもを対象とした健康づくり啓発活動を行う。(1回) ・母子健康手帳発行時の保健師個別面談時や、「各種健康講座」、「食育なつまつり」、「健康のつどい」、「3か月児健診」等で、保健師や栄養士のノウハウを活かし、「生活習慣改善指導」や「がん検診の受診勧奨」を実施する。 ・広報「かぜ」やHP、フェイスブック等により、「検診・検査のお知らせ」をはじめ、各種健康講座の案内等を周知する。		各種健康講座など多くの機会を活用して生活習慣病やがん予防をテーマに健康教育を実施し、その参加者累計が6,000名以上。 【撤退基準】 上記目標の60%以下であれば、事業手法を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3

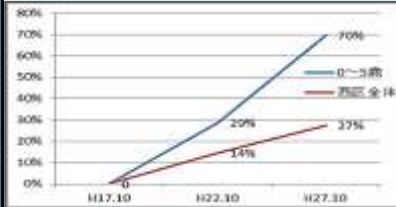
【安心して子育てや教育ができる環境づくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

- ・すべての子育て家庭が、多様な子育て支援を受けながら安心して子育てができる。
- ・希望する人が働き続けながら安心して子育てができる。
- ・子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
- ・心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【西区0～5歳人口増加率】



【西区待機児童数】

	待機児童数	入所保留児童数
H24.4月	70人	163人
H25.4月	51人	170人
H26.4月	37人	227人
H27.4月	38人	257人
H28.4月	44人	256人
H29.4月	48人	234人

【相談件数】

	H25	H26	H27	H28
	322	362	378	403

【大阪市こどもの生活に関する実態調査報告書】

(対象者:5歳児保護者)	西区	大阪市
心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人がいない	4.9%	3.7%
子どもの関わりについて適切な助言をしてくれる人がいない	8.3%	5.7%

【訪問型病児保育の必要性】



【西区の児童数・生徒数(単位:人)】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
児童・生徒数	4,660	4,672	4,716	4,865	5,053	5,164	5,348

【特別支援学級の児童数・生徒数】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
児童・生徒数	99	92	94	114	141	182	223

(2)西区の児童・生徒の学力

全国学力・学習状況調査の結果概要

実施年度	科目	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
		国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校(8校)	全国平均以上	4校	5校	6校	6校	5校	5校	5校	6校	5校	6校	6校	6校
	大阪市平均以上	5校	6校	7校	6校	6校	6校	6校	6校	7校	7校	8校	7校
中学校(3校)	全国平均以上	2校	1校	2校	2校	2校	1校	1校	2校	2校	2校	2校	2校
	大阪市平均以上	3校	2校	2校	2校	2校	2校	2校	3校	2校	2校	2校	2校

【調査の対象者】(27年度)小学校第6学年・特別支援学校小学部第6学年の全児童／中学校第3学年・特別支援学校中学部第3学年の全生徒
(28・29年度)小学校第6学年の全児童／中学校第3学年の全生徒

【調査内容】主として「知識」に関する問題(A問題)／主として「活用」に関する問題(B問題)

(3)西区の児童・生徒の体力

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要

区分	西区小学校(8校)						西区中学校(3校)					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
実施年度	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全国平均以上	3校	5校	5校	5校			0	0	0	0		
大阪市平均以上	4校	7校	7校	7校			0	2校	0	0		

【調査の対象者】(27年度)小学校第5学年・特別支援学校小学部第5学年／中学校第2学年・特別支援学校中学部第2学年

(28・29年度)小学校第5学年／中学校第2学年第2学年

※ただし、特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を適切に判断。

【調査事項】握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ(児童)／ハンドボール投げ(生徒)

【体力合計点】上記のテスト項目結果を点数化し、合計し総合評価の指標としたもの

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・0～5歳の人口増加や様々な要因により、子育て家庭の相談件数が年々増加している。
- ・アンケート結果から、「相談できる相手がない」などの回答が大阪市平均を上回っており、保護者の孤立化や地域との繋がりの希薄化などが考えられる。
- ・待機児童や入所保留児童数及び、訪問型病児保育を必要とする家庭が増加しており、子育てと仕事の両立を望んでいる家庭が増えている。
- ・児童・生徒の増加等により、支援を必要とする児童・生徒も増加傾向にある。
- ・学力については児童・生徒とも概ね大阪市平均を上回る傾向にあるが、体力については生徒が大阪市平均に満たない傾向にある。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・身近ところで気軽に子育ての相談や支援が受けられる環境を提供するとともに、子育て家庭と地域の繋がりがつくりを支援する必要がある。
- ・多様な保育ニーズに応える取り組みや、きめ細かな情報提供が必要である。
- ・子育てと仕事が両立できる環境を整えるための取り組みが必要である。
- ・区長(区担当教育次長)が各学校園の実情を的確に把握し、ニーズに応じた教育支援を行う。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 3-1 【安心して子育てができる環境づくり】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・保護者が安心や喜びを感じながら子どもを育てられる。 ・多様なニーズに対応し、希望する人が働きながら子どもを育てられる環境がある。		戦略<中期的な取組の方向性> ・安心して子どもを産み、育てられるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制を構築するとともに、積極的に情報を発信する。 ・出産・子育てと仕事の両立など、子育て家庭の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、身近な地域で子育てができる環境を整える。 ・子ども相談センターや地域における支援者等との連携強化を図り、児童虐待の防止に努める。 ・子育て家庭の育児不安を解消し孤立化を防ぐため、地域とのつながりづくりを支援する。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 安心して子育てができる環境が整っていると感じている保護者の割合： 平成31年度までに80%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない			
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		

具体的取組 3-1-1 【こども相談支援・子育て情報発信による子育て支援】

		28決算額	5,660千円	29予算額	5,970千円	30予算額	3,040千円
計画	取組内容 ・保育士・保健師・家庭児童相談員・心理相談員などの専門職が連携して、支援が必要な子どもを早期に発見し相談支援を行う。 ・利用者支援員を配置し、教育・保育その他の子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、区の相談窓口や子育て支援機関などへのアウトリーチにより、積極的な情報提供を行う。 ・子育て支援連絡会との連携により、子育て支援情報誌「てをつなごう!」を発行し、きめ細かな情報発信を行う。 ・ICTを活用し、タイムリーな情報を発信する。		業績目標（中間アウトカム） 区役所やつどいの広場など、子育ての相談ができる場が身近にあることを知っている保護者の割合：70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば事業手法を再構築する。				
	前年度までの実績 相談支援件数 平成29年度実績 395件(平成29年12月末現在) 平成28年度実績 433件 利用者支援事業相談件数 平成29年度 1,299件(平成29年12月末現在) 平成28年度実績 1,382件						
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組3-1-2 【子育てと仕事の両立を支援】

28決算額 5,698千円 29予算額 5,697千円 30予算額 5,697千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	・訪問型病児保育（共済型）を実施し、児童が病気で保育が困難な場合、事業者が保護者宅を訪問し、一時的にその児童を保育することにより、子育てと就労の両立を支援する。 ・子育てする保護者への事業認知度を高めるため、事業についての説明会を年8回以上開催するとともに、保育所・医療機関を通じての広報など、事業の周知に積極的に取り組む。 ・区内の保育施設の充実にむけ、関係局と連携して保育所整備にかかわる支援（西区保育施設整備物件マッチング事業など）を行い、待機児童の解消につなげる。		訪問型病児保育（共済型）の新規登録者数：60人以上	
	【撤退基準】		上記目標の50%以下であれば事業手法を再構築する。	
	前年度までの実績		訪問型病児保育（共済型）の新規登録者数 平成29年度実績 54人（平成29年12月末現在） 平成28年度実績 60人	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			

具体的取組3-1-3 【児童虐待防止】

28決算額 53千円 29予算額 86千円 30予算額 74千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	・子育てにかかる支援情報・相談連絡窓口をを広報誌、HP等により繰り返し広く周知し早期発見につなげる。 ・すべての就学前機関（認可外保育所含む）を年2回訪問し、情報発信・共有による連携を進める。		区担当者に対応することで、区役所が身近に感じられるようになったと感じた就学前機関の割合：80%以上	
	【撤退基準】		上記目標が40%以下であれば、事業手法を再構築する。	
	前年度までの実績		全就学前機関個別訪問実施 平成29年度実績 2回	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			

具体的取組3-1-4

【マンションコミュニティづくり(子育て)】

28決算額 121千円 29予算額 172千円 30予算額 114千円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)
	・マンションに出向き、民生委員・主任児童委員など地域住民と協力しながら、マンションに居住する親子が集う「にっしー広場」を年12回以上開催する。 ・子育て支援情報や地域での様々な取り組みを紹介する場を創出し、マンション住民を地域の活動につなげる支援を行う。		・初めて参加した保護者へのアンケートで「今後も子育て関係のイベントに参加したい」と答えた保護者の割合:80%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%以下であれば事業手法を再構築する。
	前年度までの実績		平成29年度実績 ・にっしー広場 14回開催(平成29年12月末現在) 平成28年度実績 ・にっしー広場 18回開催
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 3-2 【学校教育支援】

計画	めざす状態<概ね3～5年を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	学校教育支援施策の立案段階から学校長及び保護者・地域住民等と意見交換を行い、学校・地域の実情に応じた施策・事業を持続的に取組んでいる状態		・教育行政連絡会や教育会議等で学校や地域の支援ニーズを把握し、区長自由経費と校長経営戦略予算(区担当教育次長枠予算)を活用し、西区の実情に応じた学校教育支援事業を展開する。	
計画	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>			
	区が、学校・地域の実情に応じた学校教育支援を行っていると感じている学校及び西区教育会議委員の割合:平成31年度までに100%			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A:順調 B:順調でない			
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組 3-2-1 【分権型教育行政システム】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)	
	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校の実情を把握し、ニーズに応じた教育施策を展開するため、教育行政連絡会等を開催し、区長(区担当教育次長)と学校長が意見交換を行う(年20回) 西区教育行政に関して、その立案段階から保護者及び地域住民等の意見を把握し、施策及び事業に適宜反映するため、西区教育会議を開催する(年2回) 学校運営をモニタリングするため、学校協議会を傍聴する(全17校園) 学校運営の支援として、学校協議会委員の新任研修を行う(全新任委員) 学校施設の狭隘化など、教育環境課題の改善に向けた取組みを進めるにあたっては、保護者及び地域住民と意見交換する場(ラウンドテーブル)を開催する 		分権型教育行政の制度、趣旨の理解に基づいて業務を進めている 教育委員会事務局兼務の区職員、区内小・中学校長の割合 ・教育委員会事務局兼務の区職員の割合:75% ・区内小・中学校長の割合:75% 【撤退基準】上記目標が50%以下であれば、事業手法を再構築する 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合:30% 【撤退基準】上記目標が15%以下であれば、事業手法を再構築する。 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合:30% 【撤退基準】上記目標が15%以下であれば、事業手法を再構築する。 区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる西区教育会議委員の割合:30% 【撤退基準】上記目標が15%以下であれば、事業手法を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)	
	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組3-2-2 【学力・体力の向上】

		28決算額	- 円	29予算額	- 円	30予算額	- 円
計画	取組内容	【校長経営戦略支援予算(区担当教育次長枠)3,118千円】 ・グローバル社会において活躍・貢献できる人材育成のため、外国人との交流意欲の向上や、異文化理解の促進を図ることを目的として、区内児童を対象にネイティブスピーカー等による英語講座を実施し、英語や外国文化にふれ、親しむ機会を提供するとともに英語コミュニケーション能力の向上をめざす。(全小中学校対象) ・小中学生の体力・運動能力の向上とスキルアップのため、学校の体育科(水泳)の授業等へ専門家を派遣し、実践的な授業を行う(希望する全小中学校対象)とともに、小中学校の教員を対象に専門家による実技指導研修を開催(1回)し、教員の指導力を向上させることにより、体育の授業内容の改善・充実を図る。 ・区内中学生を対象に、学習塾等の民間事業者を活用し、基礎学力の向上等、生徒の習熟度に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図るため、課外授業を実施する。(全小中学校対象)		業績目標(中間アウトカム)		区と学校が連携し、学力向上・体力向上に取組んでいると感じている学校の割合:100%	
				【撤退基準】 上記目標が80%未満であれば、事業を再構築する。		前年度までの実績	
				平成29年度実績【校長経営戦略支援予算(区担当教育次長枠)3,063千円】		・英語コミュニケーション力向上イベント(小学校8回、中学校5回実施見込) ・教員対象の水泳指導者講習会(1回) ・小中学校への水泳インストラクター派遣(9校) ・中学生対象の課外学習(1校)	
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組3-2-3 【インクルーシブ教育の推進】

		28決算額	4,126千円	29予算額	4,484千円	30予算額	4,917千円
計画	取組内容	・西区内の大阪市立小学校・中学校に、区民の方などが「発達障がい等サポーター」として参画し、教員の指示の下、発達障がい等の児童・生徒(疑いのある者を含む)への社会性・対人関係の構築サポート、登下校時の安全確保(見守り)、移動介助等の支援を行うことにより、学校生活を送る上での環境を充実させる。(全小中学校に配置)		業績目標(中間アウトカム)		区と学校が連携し、インクルーシブ教育の推進に取組んでいると感じている学校の割合:100%	
				【撤退基準】 上記目標が80%未満であれば、事業を再構築する。		前年度までの実績	
				平成29年度実績(平成29年12月末現在)		・発達障がい等サポーター派遣(全小中学校に延べ3,235時間配置) 平成28年度実績 ・発達障がい等サポーター派遣(全小中学校に延べ4,358時間配置)	
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成		○:有効 ×:有効でないため見直す -:中間アウトカム未設定(未測定)			

具体的取組3-2-4

【いじめや問題行動、不登校対策】

28決算額 2,870千円 | 29予算額 3,194千円 | 30予算額 3,107千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉等の専門知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー(SSW)1名を配置し、区内の小中学校を巡回し、いじめや問題行動、不登校などの問題を抱える児童生徒の課題解決を図る。 ・スクールカウンセラー3人を追加で配置し、区内の全小中学校を対象として、児童生徒や保護者、教職員への相談体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所配置のSSWと学校が連携して課題解決に取り組んでいると感じる学校の割合:70%以上 <p>【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば、事業手法を再構築する。</p>
	前年度までの実績	<p>スクールソーシャルワーカー相談件数</p> <p>平成29年度実績 344件（平成29年12月末現在） 平成28年度実績 356件</p> <p>スクールカウンセラー相談件数</p> <p>平成29年度実績 202件（平成29年12月末現在） 平成28年度実績 196件</p>

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③:撤退基準未達成</p>	
	戦略に対する取組の有効性	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③:撤退基準未達成</p>	
	戦略に対する取組の有効性	

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題4

【区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

地域に最も身近な区役所が、多様な協働による地域社会づくりを支援し、区に関わる施策や事業を住民ニーズを的確にとらえながら区長が責任をもって実施し、ニア・イズ・ベターの区政運営を行っている。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

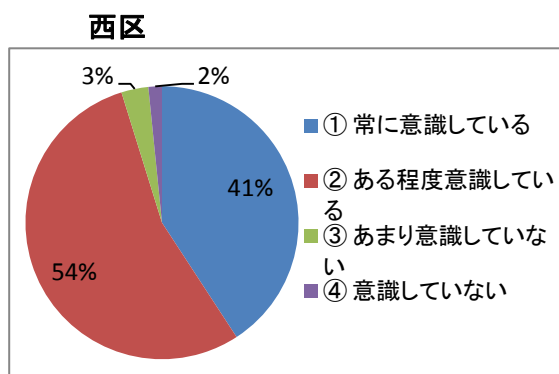
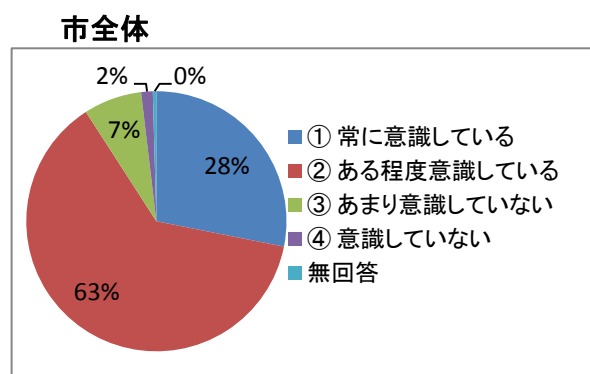
・区政会議を定数33名の委員（地活推薦28名、公募4名、有識者1名）により会議運営する中で、区の現状や行政の仕組みについての知識が不足しているという意見が多い（H29委員アンケート）

【平成28年度区民モニターアンケート結果】

・区役所が、区政運営について区民のみさんの意見や要望を聞くような工夫をしていると思う区民の割合 32.7%（H27実績27.8%）
 ・区の様々な取組（施策・事業・イベントなど）に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合 27.6%（H27実績27.7%）

【市政改革に関する職員アンケート結果（平成28年12月）】

・仕事のやり方を変えることを意識しているか



西区では、区民に信頼され、ニアイズベターを徹底し、区政運営する自律的な職員、組織であるため「大阪市人材育成基本方針」のもと、前向きで主体的かつチャレンジ意識を持ち、地域を積極的に支えることができる職員づくりと頑張る職員をしっかりとサポートしていくための職場風土づくりに取り組んできており、上記のアンケート結果においてもPDCAを意識して仕事のやり方を変えることを意識している職員の割合が市全体よりも高い割合となっている。

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・地域活動協議会からの推薦委員については、地域活動に参画し、当該取り組みに対しては感心が高いものの、活動以外の事柄への関心が低い。
 ・西区の特色ある施策・事業が十分に区民に伝わっていない。
 ・市政改革の基本的な考え方をふまえて、仕事のやり方を変えることを意識している職員の割合が市全体を上回っており、職員の意識が向上してきている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・区政会議においてより活発な議論をいただくためにも、区の様々な取り組みや行政の仕組みについて理解を深めていただくことが必要。
 ・区政情報が確実に届くよう情報発信を強化する。
 ・区民に信頼される区政運営を確立するため、引き続き職員の士気や意識向上に向けた取り組みを推進し、自律的な職員と職場風土づくりに努める。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 4-1 【区民の声が反映される仕組みづくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 自分の意見が区役所に届いたと実感する区民を増やす		戦略<中期的な取組の方向性> 区の地域事情や特性に応じて、多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、区民の声が区政に反映されるとともに、区民から区政運営の評価をしてもらえる仕組みづくりを行う。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議の委員の割合：平成31年度までに73%以上 ・区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合：平成31年度までに70%以上 ・区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合：平成31年度までに40%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体		
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
			A：順調 B：順調でない	
戦略の進捗状況		a：順調 b：順調でない		

具体的取組 4-1-1 【区政会議】

28決算額 260千円 29予算額 366千円 30予算額 348千円

計画	取組内容 ・地域活動協議会からの推薦委員等により構成される西区区政会議を年2回以上開催する。 ・会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民に知ってもらうため、ホームページ等へ掲出する。 ・会議での活発な議論を促して建設的な意見を頂くため、区の施策や事業について事業説明会を実施するほか特に委員の関心の高いテーマについては、有識者等をお招きしフォーラムを開催する等意見を頂きやすい環境づくりに努める。 ・会議において頂いた質問や意見に対する区の基本的な方針を示し、委員からの意見に対して丁寧にフィードバックする。		業績目標（中間アウトカム） ①地域活動協議会からの推薦を受けた区政会議の委員を選定（全14地域） ②区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議の委員の割合：73% ③会議において、各委員からの意見や要望、評価について、適切なフィードバックが行われたと感じる区政会議の委員の割合：70% 【撤退基準】 上記目標が目標以下であれば、事業実施手法を再構築する。	
			前年度までの実績 平成29年度実績 ①14地域28名の推薦委員選定 ②61.1% ③83.4% 区政会議3回開催、事業説明会、将来ビジョン説明会各1回開催	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組4-1-2

【多様な区民の意見やニーズの把握】

28決算額 617千円 29予算額 789千円 30予算額 660千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出による区民へのアンケートを3回以上実施し、アンケート結果はホームページ等で公表する。 ・区民の方からいただいた意見等に対して区の施策へ反映したものなどについて、庁内掲示やホームページへの掲載手法を工夫するなど、区民ニーズの施策反映について「見える化」を意識した情報発信を行う。 ・区長が区内で活動を行っている団体等から意見を聞く取組を行うなど区民の声を拾うしつみを充実させ、多様な意見やニーズを把握し区政に反映する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合：40%以上 【撤退基準】 <ul style="list-style-type: none"> ・上記目標が35%未満であれば、事業手法を再構築する。 	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 4-2 【さらなる区民サービスの向上】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 区役所が区民に身近な総合行政の窓口(インターフェイス機能と総合拠点機能を合わせ持った窓口)として信頼され、区民をはじめ来庁者にとって快適で満足できる場所をめざす。 ・区役所が、区民に対して区政運営についての十分な情報を届け、理解を得ている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・区民が抱える様々な課題に対して、その内容に応じて関係局と連携して適切に対応する。 ・区民が快適で利用しやすい区役所となるよう、引き続き、庁舎案内や窓口での対応の向上を図るとともに、来庁者の声を適切に把握し改善につなげる。 ・大阪市人材育成基本方針のもと、職員一人ひとりがその持てる力を最大限に発揮することができるような人材育成をめざす。 ・区の特性や地域実情に応じた個性あふれる施策や事業について積極的に情報発信し、区民に理解してもらう。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・区役所来庁者に対するサービスの格付け結果において、☆☆以上を獲得する。 ・区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合:平成31年度50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組4-2-1 【区民サービスの向上】

28決算額 518千円 29予算額 694千円 30予算額 600千円

計画	取組内容 ・行政連絡調整会議の開催(年1回以上)などを通じて関係局との連絡体制を確保することにより区内の様々な課題に対応できる体制づくりに努める。 ・課長会(適宜)や係長会(月1回以上)を開催し、組織的な取組に関する共通認識と情報共有を図ることで、課を超えた取組を推進する。 ・職場活性化プロジェクトチームを中心に「5S活動」を率先垂範し定着化を図ることによって、気持ちよく働きやすい職場環境づくりを進めていく。 ・民間研修機関を活用した能力向上のための研修を実施し、職員の意識向上と改革を推進する職員づくりに取り組む。(年1回)	業績目標(中間アウトカム) ・過去1年間に区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合:75%以上 【撤退基準】 上記目標を下回った場合は事業手法を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度実績 ・過去1年間に区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合:82.3% ・行政連絡調整会議の開催(平成29年5月開催) ・区役所担当業務一覧の作成、全職員への周知 ・庶務担当係長会:9回開催(H29.12月末現在)(28年度:13回開催) ・職場活性化PT会議:9回開催(H29.12月末現在)(28年度:10回開催) ・「LGBTなどの性的少数者に配慮した窓口対応等区民サービスの向上研修」の実施(11月実施)

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組4-2-2

【戦略的な区の情報発信】

28決算額 14,894千円 29予算額 17,015千円 30予算額 16,387千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	区の特성에応じた個性あふれる区政運営の取組みや成果、また区の魅力や地域情報などについて、区広報紙やホームページ等様々な媒体を活用して情報発信し、区政運営に対する区民の理解を得る。 ・区広報紙、区ホームページ、区フェイスブック、LINEなどを活用し、きめ細やかな情報発信を行う。 ・広報紙については、新聞折込みによる配布を継続するとともに、広報サポーター制度の活用に加え、マンションへの協力依頼を行うなど、区民が手に取りやすい設置場所を増やすとともに、設置場所をわかりやすく周知する。 ・区の魅力や地域活動について紹介する情報誌「につしー」を引き続き発行(年1回)する。 ・LINEにおける区広報紙や各種イベント情報のデジタル配信にあたり、LINE友達登録の更なる周知を図る。		・区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関する情報が、区役所から届いていると感じる区民の割合:40%以上 【撤退基準】 上記目標が35%を下回った場合は事業手法を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 4-3 【効率的な区行政の推進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>		
	区民に信頼され、ニア・イズ・ベターを徹底し、区政運営する自律的な職員、組織であること。		・コンプライアンス違反を発生させないための自律的な取組みや服従規律の確保を促進し、区民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進める。 ・施策の目的を明確にした上で事業を実施し、定期的に目的に対する成果や取り組みの有効性をチェックすることで、事業内容の改善や新たな事業展開につなげるよう、マネジメントサイクルを徹底することにより責任ある区政運営を進める。		
計画	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>				
	・不適切な事務処理事案の件数 31年度までに6件以内(28年度9件)				
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	
		A:順調 B:順調でない			
戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			

具体的取組 4-3-1 【コンプライアンスの確保】

		28決算額	-	円	29予算額	-	円	30予算額	-	円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム) 「コンプライアンス」を意識している職員の割合:100%(平成28年度:99.4%) 【撤退基準】 上記目標が80%以下であれば、事業手法を再構築する。								
	これまでにあった個人情報漏えい事故や不適切な事務処理事案等を共有化し、課題を検討して再発防止対策に取り組む。また、適切な事務処理ができる組織づくりのため、コンプライアンス研修を実施し、職員のコンプライアンス意識の向上と不適正事案を未然に防ぐ「風通しのよい職場づくり」を推進する。 ・内部統制連絡会議の開催(年2回程度) ・全職員対象のコンプライアンス研修(年1回) ・公金管理における点検とヒアリングの実施(年4回)	前年度までの実績 平成29年度実績 ・内部統制連絡会議の開催:1回(平成29年12月末現在) (平成28年度:2回) ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンスニュースの発行:1回(平成29年12月末現在) (平成28年度:3回) ・公金管理における点検とヒアリングの実施								
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須								
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成									
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)								
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須								
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須								
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成									
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)								

具体的取組4-3-2

【PDCAサイクルの徹底】

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）
	施策の目的を明確にした上で事業を実施し、定期的に目的に対する成果や取り組みの有効性をチェックすることで、事業内容の改善や新たな事業展開につなげるよう、マネジメントサイクルを徹底することにより責任ある区政運営を進める。		日頃からPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合：90%以上 【撤退基準】 上記割合が70%を下回った場合、取り組み内容を再構築する。
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		
自己評価	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)	